

米原警察署協議会議事録

開催日時	令和6年2月28日(水) 午前10時00分～午後0時20分	
開催場所	米原警察署 4階会議室	
出席者	委員	藤本敦子会長、川瀬秀樹副会長、角田峰治委員、富田正子委員 馬渕英樹委員
	警察	山本署長、小森次長(警務課長兼警備課長)、三俣会計課長、 笠原留置管理課長、坂口生活安全課長、赤堀地域課長、 太田刑事課長
議事概要	<p>1 会長挨拶</p> <p>会長から、「能登半島沖地震で復興支援に携わった関係者から、被災状況を聞く機会があり、日頃から災害に対する準備や心構えなどが必要であることを改めて認識することとなった。被災状況については、家族や知人にも伝え、今後の災害対策として役立てていきたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>署長から、「能登半島沖地震で亡くなられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された方々が早期に平穏な日常を取り戻せるよう、署員一同願っている。本年の県内治安情勢は、殺人事件や交通死亡事故など、重大な事件事故が発生しているが、米原市内では平穏に推移している。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 刑事警察活動について</p> <p>警察から、捜査手法、捜査の流れ等について説明がなされた。その際、委員から、「防犯カメラの捜査で、膨大な量のデータを回収して精査することは、大変な労力を要するのではないか。」、「特殊詐欺の犯行グループは、被害に遭った者をリスト化していると聞いたことがあるが、何か対策を講じているのか。」旨の質問がなされ、警察から、「事件発生後速やかに回収する必要があり、労力を要している。」、「犯行グループを検挙の際、被害に遭う可能性がある方の情報が掲載された名簿を押収し、全国警察が共有して抑止対策としている。」旨の説明がなされた。</p> <p>(2) 滋賀県警察防犯アプリについて</p>	

警察から、本年3月1日から運用が開始される滋賀県警察防犯アプリ（ぼけっとポリスしが）の説明がなされた。その際、委員から、「学校や自治会にも啓発チラシを配布し、アプリの説明をお願いしたい。」旨の要望がなされ、警察から、「アプリを多くの方に利用してもらえるように様々な機会でも説明していく。」旨の説明がなされた。

(3) その他

委員から、「災害発生時、警察ではどのような資料を基に、安否確認を行っているのか。」旨の質問がなされ、警察から、「交番、駐在所の地域警察活動の一環である巡回連絡において、個別世帯や事業所を把握し、その内容を資料化している。」旨の説明がなされた。

また、委員から、「前回の協議会で、冬期は日没が早く、中高生の帰宅時間帯には幅が生じるため、パトロールの強化をお願いしたところ、交番の警察官による定期的なパトロールと声掛けを行ってもらい、大変感謝している。」旨の発言がなされた。

4 その他

警察署協議会終了後、鑑識活動の体験を実施した。